

我孫子市鳥の博物館調査研究報告第4巻：69-70（1995）

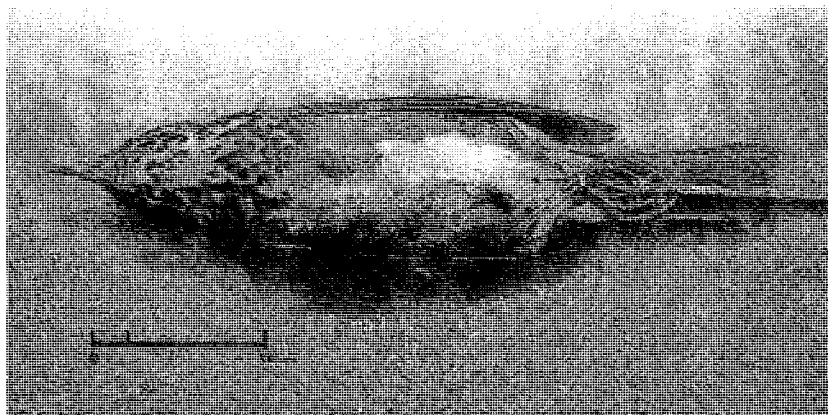
## 秋田県におけるカラアカハラ *Thrdus hortulorum* の標本

時田賢一

キーワード：秋田県、カラアカハラ

秋田県秋田市金足小泉字上前の秋田県立博物館分館（39° 49' N, 140° 4' E）において、1993年4月29日、博物館分館建物に衝突したカラアカハラ（*Thrdus hortulorum*）雌1羽を得たので報告する。採集地周辺の環境は、海岸線から直線距離約3.2km、西側を砂丘、東側を沖積平野にはさまれ、耕地や集落が点在するクロマツ林に覆われた低い丘陵地で、南に隣接する沼は小泉潟と呼ばれカモ類の渡りの中継地として知られている。

本種はシベリア東部及び中国東北部で繁殖し、冬期には中国大陸南部、インドシナ半島などに渡る（小林 1983）。わが国では、主に山形県飛鳥から九州にかけての日本海沿岸や島嶼で、4月の末から5月の初め及び10月に迷鳥または旅鳥として記録されている。国内での記録は1890年に石川県で捕獲されたのが最初で（日本鳥学会1974）、Brazil（1991）によれば、山形県、新潟県、長野県、石川県（舳倉島）、鳥取県、山口県（角島）、長崎県（対馬）、鹿児島県（平島）及び沖縄県（西表島）での記録がある。1953年までは4個体と記録が少なく、その後、清棲（1978）によれば1965年石川県金沢市♂1、1966年新潟県柏崎♂3、1974年鹿児島県鹿児島市♂1、長崎県対馬♂1と比較的よく記録されている。また、川路（1987）によれば標識例でも1965年から1987年の間に9例が報告されている。さらに、1988年から1993年の間には26例が報告されている（標識ステーション報告1988-1993）。



カラアカハラ仮剥製標本腹部

本種は斃死鳥として秋田県立博物館に冷凍庫保存されていた資料で、著者が1994年に同館を訪問した際、同定を依頼されていたものである。現在、本種は仮剥製標本として我孫子市鳥の博物館が保管している。計測値は次のとおりである。翼長(自然長)=108.4mm、尾長=75.3mm、跗蹠長28.5mm、露出嘴峰長18.7mm、全長=195mm。なお、種の同定にあたっては貴重な助言を頂いた(財)山階鳥類研究所標識室の尾崎清明・茂田光良両氏に深く感謝の意を表す。



カラアカハラ仮剥製標本側面

#### 引用文献

- 日本鳥学会. 1975. 日本産鳥類目録. 改訂第5版. 学研, 東京.
- Brazil, M. A. 1991. The Birds of Japan. Christopher Helm, London.
- 清棲幸保. 1965. 日本鳥類大図鑑. 講談社, 東京.
- 清棲幸保. 1978. 日本鳥類大図鑑補遺. 講談社, 東京.
- 小林桂助. 1983. 改訂原色日本鳥類原色図鑑. 保育社, 東京.
- 川路則友. 1987. トカラ列島平島におけるカラアカハラの標識例. 山階鳥類研究報告19:145-146.
- 山階鳥類研究所標識室. 1988. 昭和63年度鳥類観察ステーション報告. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識室. 1989. 平成元年度鳥類観察ステーション報告. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識室. 1990. 平成2年度鳥類観察ステーション報告. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識室. 1991. 平成3年度鳥類観察ステーション報告. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識室. 1992. 平成4年度鳥類観察ステーション報告. 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階鳥類研究所標識室. 1993. 平成5年度鳥類観察ステーション報告. 山階鳥類研究所, 我孫子.

A Specimen of the Grey-backed Thrush (*Thrus hortulorum*) at Akita Prefecture.

Ken-ichi Tokita

KEY WORDS : Akita prefecture, Grey-backed Thrush, *Thrus hortulorum*